

舞鶴赤十字病院名誉院長

横田敬さん(82)

京都市伏見区在住

京都市舞鶴市や城陽市などの病院で長く救急医療に携わってききました。大学紛争が激しいころ、舞鶴では人手不足となり3日に1回は当直だったことも。1980年、城陽市に開設されたきづ川病院では、人口急増地での救急医療に全国的な注目が集まりました。

## 医療の現場が一番

高知大農学部2年生のとき、友人の勧めもあって医学の道を目指しました。私自身が肺結核で旧制海南中を1年間休学し、姉が病死した経験もあったからです。医科大受験のころは物資が乏しく、親が残してくれた小学校のテストの裏がノート代わりでしたね。

出征こそしませんでした。当時は田舎で情報が少ないこともあって「何とかお国のために」という思いでした。もちろん、今考えると戦争なんてはかげたことです。

現在も平日は健診センターなどに勤めています。やっぱり現場にいるのが一番で、受診者と対話するのが楽しみです。2009年には瑞宝双光章をいただきました。京都県人会副会長でもあり、多忙な毎日ですね。

### 遠境近況



よこた・けい 香美市出身。高知大中退、京都府立医科大学卒業。舞鶴、高知両赤十字病院などを経て、2005年から京都きづ川病院名誉院長兼健康管理センター所長。